

しも なか い さん い せき はな まき し おおはさまち なん とう ぶ
下中居川遺跡は花巻市大迫町の南東部に位置します。
花巻市大迫総合支所から南南東に約 1.5 km、国道 396
号線沿い東側の緩斜面上に立地します。

本遺跡は、岩手県が中山間地域総合整備事業を実施
することになったため、平成 20 年に岩手県教育委員
会から花巻市教育委員会が依頼を受けて発掘調査を行
いました。

この調査で、「竪穴建物跡」が 2 棟確認されています。
形状からみて中世頃の遺構と推測されますが、この周
辺部からは中世から近世初めにかけて流通した貨幣が
5 点出土しているのです、みつかった竪穴建物跡もこの
頃の遺構と考えられます。また、ここが水田となる以
前の「畑跡」も見つかっています。この畑跡は近代の
遺構です。何の畑だったかは分かりませんでした、
かつて大迫地域では葉たばこ「南部葉」が作付けされ
ていた地帯であったことから、葉たばこ畑であった可
能性もあります。

このほかに、縄文
時代と推測される狩
猟用の「陥し穴」が
4基と縄文時代前期
(約10,000～6,000年
前)の土器や石鏃、
石匙などの石器が多
数出土しています。



畑跡の検出状況（北東から）（2008 年調査）